

大野城市 議会だより

2020 令和2年
No.151
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和2年11月15日
9
9月定例会



令和2年 第6回12月定例会 (予定)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
 本会議および委員会の傍聴はお控えいただき
 ますようお願いいたします。

12月1日(火)10:00～本会議 提案理由説明
 4日(金)10:00～本会議 質疑・付託
 7日(月)10:00～各常任委員会 9日迄

14日(月) 9:30～本会議 一般質問
 15日(火) 9:30～本会議 一般質問
 17日(木)10:00～本会議 報告・討論・採決



※「リズム保育園」の園児たち



主な記事

- 委員会報告 …………… P3～5
- 9月定例会一般質問 …………… P6～13

- 特集
 「9月議会3回才感染防止対策」
 …………… P14～15

市民とともに歩む議会だより

次号152号
 令和3年2月15日発行
 ……………
 あなたの写真で
 議会だよりの表紙を
 飾ってみませんか?
 (締切り 12月14日)

審議結果一覧

令和2年第5回9月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第66号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	福祉文教委員会
第67号議案	大野城市重度障害者医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//
第68号議案	大野城市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	都市環境委員会
第69号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	全会一致同意	—
第70号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	—
第71号議案	財産の取得について	全会一致可決	福祉文教委員会
第72号議案	財産の取得について	//	//
第73号議案	令和2年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について	//	予算委員会
第74号議案	令和2年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第75号議案	令和2年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	//	//
第76号議案	令和2年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	//	//
第77号議案	令和2年度大野城市水道事業会計補正予算(第1号)について	//	//
第78号議案	令和2年度大野城市下水道事業会計補正予算(第1号)について	//	//
認定第1号	令和元年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定 (賛成18・反対1)	決算特別委員会
認定第2号	令和元年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	//
認定第3号	令和元年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	//	//
認定第4号	令和元年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	//	//
認定第5号	令和元年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	//	//
認定第6号	令和元年度大野城市土地区画整理清算金特別会計歳入歳出決算認定について	//	//
認定第7号	令和元年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致可決及び認定	//
認定第8号	令和元年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//	//
報告第9号	令和元年度大野城市健全化判断比率について	報告	—
報告第10号	令和元年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	//	—
報告第11号	令和元年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	//	—
報告第12号	令和元年度大野城市土地開発公社の決算について	//	—
報告第13号	令和元年度公益財団法人大野城まどかぴあの決算について	//	—
報告第14号	平成31年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	//	—
報告第15号	平成31年度公益財団法人大野城市体育協会の決算について	//	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致同意	—
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	//	—
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	//	—
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	//	—
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	//	—
意見書案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	全会一致可決	—
意見書案第2号	小中学校の教職員の増員及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	//	—
意見書案第3号	地方自治体へのコロナ禍における想定される台風災害対応に専念できるよう配慮を求める意見書の提出について	賛成多数 可決 (賛成18・退席1)	—

賛否等の分かれた議案(令和2年第5回9月定例会) (○:賛成、●:反対、退:退席、—:議長は表決に加わらないため)

議員氏名	自民令和				自民まどか				自民大野城				公明党			改革フォーラム		市民クラブ		
	関井	山上	森	平田	原田	田中	中村	渡邊	岡部	平井	井福	大塚	井上	河村	神田	関岡	松田	松崎	福澤	松崎
認定第1号	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
意見書案第3号	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退

全生徒へのタブレットの導入決定

福祉文教委員会

第66号議案

「大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

問 この条例に関わる保育所等は市内に何箇所あるのか

答 市内では、小規模保育事業所1箇所が該当する。

第71号議案・第72号議案

「財産の取得について」

問 今回の小中学校の児童・生徒用のタブレットと大型提示装置の取得契約には何社が入札に参加したのか

答 タブレットと大型提示装置ともに7社が応札した。

問 このタブレットは児童・生徒用と教員の指導者用であるが、一台あたりの価格は

答 児童・生徒用は学習支援ソフトなどが入り一台あたり5万2,500円程度で、指導者用は児童・生徒用より本体が1,100円、カバーケースが1,900円程度高くなっている。

問 納品時期はいつになるか

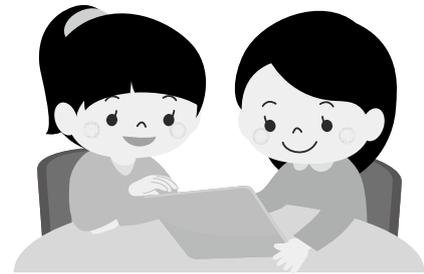
答 タブレットは令和3年3月までに、大型提示装置は本年12月には導入する。

問 当初の予算組ではタブレットは1台当り9万円位であったが、実際の契約価格との差はなぜ

答 予算時は故障時の保証を付ける事を想定していたが、再精査し個別的な修繕費の方が安価と考えた結果、1台当りの単価が下がった。

問 タブレットの購入は9,400台以上あり、児童・生徒には大切に使用していただくということだが、タブレットのパスワードやIDの管理はどのように行うのか

答 端末は大切に、また、できるだけ長く使えるよう学校に指導を行っていただき、パスワードやIDは学校で管理していただくように考えている。



上下水道事業の条例改正

都市環境委員会

第68号議案

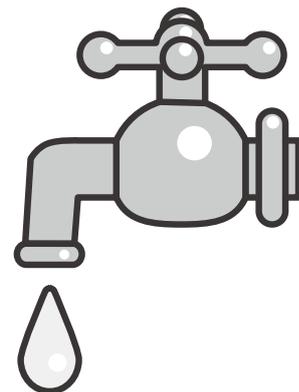
「大野城市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

問 水道事業及び下水道事業に従事する職員の賠償責任とあるが、過去に賠償責任を適用した事例はあるか

答 過去には賠償を伴う事態が発生した事例はない。

問 賠償責任に対する保険の加入状況はどのようにになっているか

答 自動車や建物、施設などに対する保険には加入している。



第73号議案

「令和2年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について」

歳入歳出予算総額から、それぞれ4億731万2,000円を減額し、補正後の歳入歳出予算総額を488億4,394万9,000円とするもの。

問 心のふるさと館の特別展の今後の予定、テーマと開催時期について

答 令和2年度の予定として、来年1月から東京芸術大学との共同によるスーパークローン文化財展を予定している。来年度については、まず春に、今年度春に予定をしていた「歴史教科書でみる考古名品」展を7月から8月にかけては子どもを含めて親子でアートを楽しんでいただける特別展を、そして10月から12月にかけては国宝に関する特別展の準備を進めており、年3回の特別展を予定している。

問 新型コロナウイルス感染症のPCR検査受診に関して、筑紫医師会に対しての補助金、支援の86万9,000円の根拠と受診者1人にとの位の費用が掛かるか、また、何人位を予想していたのか

答 1日当たりの本市の受診者数を4人、開設日は火曜日、木曜日、土曜日、今年度分を122日として計算をしている。1人当たりの補助金は保険診療の診察料の自己負担相当額としており、自己負担割合3割の方が多いことから、3割負担相当額として1,780円。それを全て掛けて、86万9,000円としている。

問 筑紫地区検査センターで検査された方には1,700円相当の補助が出るのか

答 受診者本人への補助ではなく運営費として筑紫医師会に補助を行う。受診者本人の負担はないこととなっている。

議会の動き

7月22日 筑紫地区市議会議長会(大野城市)

8月11日 会派代表者会議
25日 議会運営委員会

9月1日 本会議(初日)
全員協議会
広報委員会
4日 本会議(2日目)
決算特別委員会
議会運営委員会
市民に開かれた議会をつくる
調査特別委員会

8日 福祉文教委員会
都市環境委員会
会派代表者会議

9日 予算委員会
会派代表者会議

10日 決算特別委員会(～14日)
16日 本会議、(3日目、一般質問)
会派代表者会議
17日 本会議、(4日目、一般質問)
23日 議会運営委員会
本会議(最終日)
全員協議会
広報委員会

10月12日 広報委員会
21日 広報委員会



中学校ランチ給食5年で倍以上!

決算特別委員会

認定第1号

「令和元年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について」

問 依存財源と自主財源の比率の見直しは

答 国や県の政策の進捗状況により、自主財源と依存財源の割合は変わってくるが、一般的な考え方としては、市税の伸びによって自主財源の比率が増えていくことが想定される。

問 ふるさと納税の損益と利用者の評価は

答 寄附金額は2億4,249万5,000円で、経費が1億3,543万9,000円になっており、差し引き1億705万6,000円、また市民税の控除額が1億2,556万8,000円となっており、最終的な差し引きは1,851万2,000円の赤字となっている。

寄附者全体の18.5%がリピーターとなっており、年々増加していて、現状は特段のチームなどもない。

問 認定こども園の入所状況、また待機児童数の推移は

答 現在の認定こども園の定員に対する入所率の状況は、3園中、大野幼稚園が100%を超えており、大野東幼稚園は、令和2年8月1日現在で約76%、筑紫幼稚園は約71%となっている。昨年4月1日現在の待機児童は143名、本年4月1日現在の待機児童は95名となっている。

問 街頭見守りカメラの新規設置場所と耐用年数は

答 耐用年数が来たため、昨年度、JR大野城駅西口分を改修した。今年度につつじヶ丘の入口の交差点、中央2丁目(大利小学校から下りた踏切付近)に防犯カメラを設置する計画である。

同種カメラの基本的な耐用年数は6年から7年であり、警察から照会等が来たときに撮れていないという事案が発生すると問題になるため、そういった問題がないよう更新をしていくが、新しい機種で耐用年数が長い機種等も出てくると思われるので長寿命化の検討もしていきたい。

問 コミュニティバスの路線別利用者の推移と増減の理由は

答 現在、常時6便を運行しており、それとは別に、1台予備車として使っている。仲畑ルートは、乗客率が91.3%、前年度に比べて8.7%減っている。乙金ルートは、93.2%で6.8%の減、大城ルートは、105.3%で、5.3%の増、東部ルートは、192.6%で92.6%増になっており、合計で、2.6%増えている。理由としては、東部ルートにおいて便数を6便増やし、合計12便としたためである。

なお、仲畑ルート、乙金ルートについては、コロナウイルスの関係で3月の乗客数の減により減少している。

問 大野城市奨学資金給付金の現状と制度の改善予定は

答 平成28年度は、高校生22名、大学生3名で、計25名という数字が上がっていたが、直近は、高校が14名、大学が3名と、数字が減ってきている。以前は辞退がほとんどなかったが、現在、辞退が目立ってきている。奨学資金選考委員会の中でも、私立学校の無償化なども始まっており、改善の時期に来ていると認識されているため、今後、内容を改善する方向で検討していきたい。

問 中学校ランチ給食の申込数と評価は

答 令和元年度は、607.7食で数字が上がっている。5年前の平成26年度は、282食なので5年で倍以上、増えてきている。

食数が伸びてきていることに加え、概ね良い評価をいただいている。また、生徒の意見を取り入れて、大盛りと普通盛りの御飯の量を変える等、常に利用者である生徒の声に耳を傾けながら、改善に努めている。



～ これからの大野城を問う ～

一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員のタイトルにあるQRコードから映像を見ることができます。

氏名	件名
平井 信太郎	・紫池公園の再整備について ★災害発生時の小中学校の対応と対策及び大野南小学校の安全対策について
平田 不二香	★メンタルヘルスについて
渡邊 知之	★防災について
井福 大昌	★市内、小中学校のコロナ対策支援 ・市内、事業者・商店へのコロナ対策支援
中村 真一	★各学校の校区と校舎等学校施設整備について
松田 美由紀	★中学校制服等や校則について
原田 真光	・防災について ★避難所の感染症対策と大野城市総合防災マップについて ・戸別受信機について ・山田多目的倉庫について
森 和也	・水道加入金について ・急傾斜地崩壊対策工事における法面保護工について ★歩道の車止めについて ・交通安全対策について
関井 利夫	★日本遺産広域型の認定について
田中 健一	★危機管理対策について
河村 康之	★多様性を尊重する本市の考えと取り組みについて
大塚 みどり	★中学生の制服等について
神田 徳良	★子ども・子育てについて
松崎 百合子	★安全な給食による健康づくりについて ・子どもの貧困防止の緊急対策と計画の策定について



▲映像はこちら

大野南小の裏門側に車両通路と信号機設置を

平井 信太郎



問 南地区で大きな災害が起きた場合、大野南小体育館は避難場所になる。南小の車の出入り口は1か所しか無い。この状況をどのように考えているか

答 大野南小の正門は、車両と児童の出入り口として共用になっており、安全確保の観点からは車両と児童の出入り口は独立していることが望ましい。新たに車両の出入り口を整備する場合、道幅の広い道路と面している学校の東側に設置することが最適と考えるが、学校と当該道路の高低差があり、車両が通行できる出入り口を設けることは難しい。

問 車両の渋滞緩和や安全面を考慮し、グラウンド側と老人憩いの家の法面を利用し、グラウンド側に別の車両の出入り口を設けられないか

答 大野南小に隣接する老人憩いの家の法面を利用し車両の出入り口を整備することは、当該区、学校、保護者、南ヶ丘2区老人憩いの家の利用者、所管部局と協議調整を行い、必要性を含め検討する。

問 グラウンド側に車の出入りが出来る道路ができた場合、地域住民の安全対策として信号機を設置できないか

答 新しい車両の出入り口の新設等により交通状況が大きく変化した場合、必要な対応策を検討する。



通学路に信号機の設置を!▶



◀法面を利用し新しい車両道路設置を!



▲映像はこちら

本市職員と市民のメンタルヘルス対策

平田 不二香



問 職員のメンタルヘルス対策への取組は

答 日頃のセルフケアに重点を置いたメンタルヘルス研修を毎年実施。重症化防止対策は、EAP(職員援助プログラム)による相談窓口の利用、産業医面談、ストレスチェックなどを行っている。

問 ストレスチェックの結果は

答 職員481名に対して検査を受けた職員は450名、受検率は93.6%で、高ストレス者と判定された職員は64名で全体の14.2%

問 復職支援の状況は

答 昨年度、メンタル疾患により病気休暇、退職となった職員は14名で、このうち4名が、復職支援プログラムを利用し、4名とも職場に復帰。今年度も8名のうち、既に2名が利用して、2名とも職場に復帰した。

問 コロナ禍での小中学校教職員、児童・生徒のメンタルヘルス対策

答 例年3日間の学校閉庁日を6日間へ拡大した。児童・生徒への対策は、学校や保護者の見守りに加えて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した組織的な支援を行っている。保護者に対しては、「新型コロナウイルス感染症による子どものストレスとその対応に関するお知らせ」を作成した。

問 コロナ禍での高齢者のメンタルヘルス対策

答 地域包括支援センターの主任介護支援専門員や保健師、社会福祉士などの専門職が、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯などを優先に、戸別訪問や電話による相談を実施している。





避難所における防災対策を！

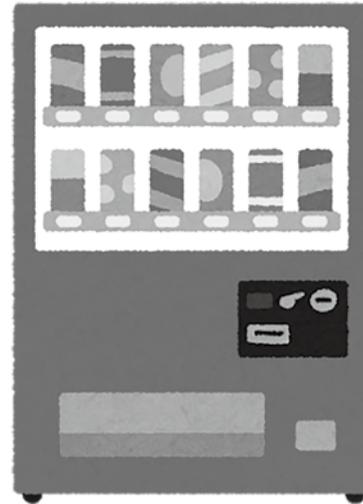
渡邊 知之



▲映像はこちら

問 避難所(コミュニティセンターや公民館等)における災害時の飲料水の備蓄庫として、また近年の異常気象による気温の上昇によつての熱中症対策として、災害対応型自動販売機の設置をすべきだと考えるがいかがか

答 避難所における飲料水の確保については、備蓄と給水を基本としており、災害対応型自動販売機の設置も補完的な手段の一つと考えられる。現在、災害対応型自動販売機は、各コミュニティセンターに2台ずつ設置されているほか、牛頸公民館と平野中学校に1台ずつ設置され、合計10台設置されている。今後、自動販売機の設置者が災害対応型自動販売機の導入について検討される場合には、求めに応じて必要な情報提供を行いたい。



市内小中学校のコロナ対策と支援

井福 大昌



▲映像はこちら

問 コロナでの休校措置以降、授業カリキュラムや学校行事の現状と見通しは(特に受験生)

答 夏休みの短縮、体育祭などの大きな行事を中止したことにより、授業時数を確保することができ、おおむね当初の予定通りに進んでいる。受験を控えた中学校3年生についても、遅れなく進んでいると報告を受けている。行事については、体育祭と運動会は中止を決定している。修学旅行は、感染状況を見極めるため延期。終業式・始業式・卒業式・入学式などの儀式的行事についても、参加者や内容の縮小など感染対策を十分に行い、実施可能な方法を検討していく。

問 再び休校になった場合、タブレットを利用した動画授業・リモート授業などの計画は

答 感染拡大により再び長期の臨時休業等になった場合は、タブレット端末を活用してインターネット経由の授業や、動画配信を行うことを検討して

いる。

問 校内の感染予防のための消毒作業専門スタッフ配置は

答 まだ、一部の学校にしか配置できていない状況だが、勤務日数などの条件を見直し、再度募集を行っている。今後は、保護者等に募集チラシを配布するなど、募集方法を工夫し、地域の皆様の協力も得ながらスタッフの確保に努めていく。





▲映像はこちら

各学校校区と校舎等の学校施設整備の検討を

中村 真一



問 今後、校区によっては児童生徒数の増が予測されるがどの程度、見込んであるか又どのようにして予測をたてるのか

答 毎年、福岡県教育庁からの依頼で調査している、今後5年間の児童生徒数の見込みを基に、校区ごとのマンション建設予定や宅地の開発状況等の地域性を踏まえ予測を立てている。

問 児童生徒数の増加を見込んだ計画になっているのか

答 施設の劣化状況に加え、各学校区の児童生徒数の将来動向を踏まえ、教室等の教育環境の確保がなされるように改修内容の見直しを行い、事業の計画を行っている。

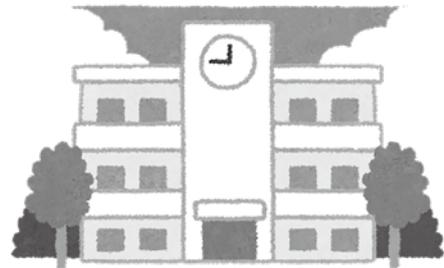
問 大野北小・大野東中校区、大利小・大利中校区の学校施設整備は検討に入っているか

答 以前より、児童生徒数の増加に対応できるよう計画的に整備を進め、現在把握している大規模マンション開発等による児童生徒数の増加に対

応できる見込みとなっている。

問 各学校区によって児童生徒数の増減に偏りがあるように思うが、校区編成について見直しを考えてはどうか

答 大野小や大利小などではマンション建築等により、増加が見込まれる一方、下大利小は、減少傾向となっている。行政区・子ども会等の地域性など、様々な視点から審議を行い、教育委員会で決定している。今後も地域とともにある学校づくりの視点を踏まえ、望ましい校区のあり方について、必要に応じ検討していく。



▲映像はこちら

制服等の負担感軽減対策と校則の見直しを！

松田 美由紀



問 入学時に必要な各中学校における、中学校制服等の購入総金額は

答 物品の購入総金額は、市内5中学校の男女とも合計で約5万円から6万円の価格帯となっている。

問 支払方法について

答 制服の購入は、1月～2月頃開催の学校説明会で、採寸と購入の申込みを行い、後日物品の受渡しの際に、保護者から業者へ直接代金を支払う。現金一括払いの他に一部業者はスマートフォンによるキャッシュレス決済、商工会の商品券による支払いも可能。

問 校則は各学校によって違いはあるか

答 基本的な内容は同じだが、細部で違いがある。

問 肌着の色を指定する根拠は何か

答 不必要に華美にならないこと、保護者の経済的負担を減らすことを考慮して決められている。

問 防寒具として、肌色の無地のストッキングを着用してもよいことになっているが、黒タイツ等は禁止しているのか

答 黒タイツ等の着用を認めている学校と認めていない学校があり、認めていない学校は要望等が上がってないため、検討していない。タイツに限らず、校則に関する要望や意見がある場合は、学校に相談いただきたい。

問 各学校の校則は、定期的な点検・見直しが行われているか。また、教育委員会は把握・点検はしているか

答 校則の点検・見直しは各校定期的に行っている。教育委員会は各校の校則の点検は行っていない。社会通念上著しく趣旨を逸脱した校則があれば指導していく。





新型コロナウイルス対応！ 大野城の防災対策

▲映像はこちら

原田 真光



問 避難所における新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症への本市の具体的な対策は

答 市では避難所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、マニュアルに基づき感染予防及び対策に必要な資機材(パーティション、段ボールベッド、テント)の調達を行っている。

マニュアルでは、避難所での3密防止を目的とした収容可能人数の見直し、体調不良者が発生した際の動線や専用スペースの確保、避難所における感染症対策についての注意事項等を定めている。

問 在宅避難や車中泊等を選択した市民への支援は

答 在宅避難者への支援については、大野城市地域防災計画において、避難所入所者に準じた対応を行っていくことにしている。

また、今般の新型コロナウイルス感染防止対策として、車中避難を希望される方が増えることが予想されたため、今年度から試行的に大野城まどかびあ立体駐車場を車中避難場所とし、対

応している。

問 感染症対策を踏まえて大野城市総合防災マップ(冊子)を改訂する必要があると考えられるが本市の見解は

答 現在の総合防災マップには、感染症対策に関する内容は掲載していないが、令和3年度に改訂を予定しているため、その中で感染症対策を踏まえた内容となるよう検討したい。



歩道に車を侵入させない車止めを

▲映像はこちら

森 和也



問 月の浦交差点において、歩道の車止め(丸い石)が撤去されたが、なぜ撤去したのか

答 月の浦交差点の車止めは、横断歩道手前の点字ブロックと干渉しており、視覚に障害のある方が道路を横断する際につまずくなどして負傷する恐れがあると判断した。

問 2年前、月の浦交差点で車の衝突事故が発生したが、車止めにより車が歩道内に侵入するのを防げた。車止めがないと、歩道にいる人を守れないと思うがいかがが

答 今回撤去した球体状の車止めは、歩道への車の乗り入れを防止するという目的で設置をしていたことから、容易に取り外しができる構造となっていた。このように撤去した車止めは、歩行者を保護する機能が十分ではないので、その対策が必要であると考えている。

問 歩道に車が侵入しないようポール式の車止めを設置するとともに、点字ブロックの改良により目

が不自由な方の行動に制約を与えないようにできると考えるがいかがが

答 歩行者の保護を目的とした車止めは、歩行者の安全を確保する上で非常に有効であると考えており、新たな車止めを設置する準備を進めている。

問 設置する場合、いつ頃設置するか

答 現在、工事発注事務を進めており、遅くとも年内には設置できると考えている。





▲映像はこちら

祝！日本遺産 広域型認定

関井 利夫



問 平成27年に太宰府市が「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点～」として認定を受けたものが今年度拡充され、大野城市の文化財も含まれた広域型として認定された。

認定されたことをどのように考えているか

答 日本遺産は、地域の歴史的な魅力や特性を通じて、我が国の文化、伝統を語るストーリーを文化庁が認定をするものであり、今回の認定は、平成27年度に太宰府市が認定を受けていたものが、今年6月に拡充され広域型として認定されたもので、その日本遺産のストーリーは、大宰府は、西の都成立以前から海外や国内の盛んな交流の地であった筑紫という地域的な素地の上に成り立っていたことが追加されており、構成文化財は、太宰府市、大野城市、筑紫野市、春日市、那珂川市、宇美町、佐賀県基山町に広がっている。本市はこれまで、これらの歴史遺産を確実に保存し、市民の皆様にも本市の歴史に触れて頂けるよう整備を進めてきた。

今回の認定は、これまでの、おおの山城大文

字まつりや、古代山城サミットの開催、大野城心のふるさと館の建設など、本市の歴史を今に伝え、未来につなげる施策などの取り組みを通じた市全体の盛り上がり評価されたものと考えている。

長い歴史を越え、私たちのふるさとを築いて頂いた先人たちが残した、本市に脈々と息づく歴史遺産をふるさとの宝として未来に繋ぎ、次の世代に託していくことは、現代を生きる私たちの責務であると考えている。



▲映像はこちら

コロナ禍で、いま何をすべきか！

田中 健一



問 コロナウイルス感染症対策と医療体制は、どのような状況になっているのか

答 感染症対策として、手や指の衛生の徹底、マスクの着用、3密回避などの呼び掛けとイベントの縮小や中止、公共施設の感染症防止対策の徹底などを行ってきた。検査体制及び医療体制の整備は、県が行う事となっている。筑紫地区の検査は、筑紫保健福祉環境事務所、帰国者・接触者外来、筑紫医師会検査センターなどで行われている。県は今後も検査体制の拡充を行うこととしている。県内の医療体制は、病床490床、軽症の方の宿泊療養施設は、4施設、1,057室が確保されている。

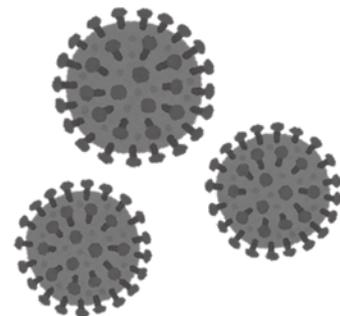
問 秋冬に向けてのコロナウイルス感染症対策は、どう考えているのか

答 今後とも、感染症対策として、手洗い、マスク着用、3密回避などの予防対策を、市民に呼び掛けていく。インフルエンザは、より多くの方に早めに予防接種を受けるよう、市広報やホームペー

ジでのお知らせ、そして高齢者団体等への周知、勧奨を行っていく。

問 コロナウイルス感染拡大に伴う税収減少が見込まれるが、来年度予算編成は、どう考えているのか

答 令和3年度の予算編成は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大変難しい舵取りだが、状況を慎重かつ的確に見極めながら、市民サービスへの影響を最小限に抑えられるよう、取り組んでいく。





▲映像はこちら

本市の多様性の尊重と取り組みを！

河村 康之



問 職員への多様性の尊重についての指導・教育等はどの様に行っているのか

答 職員人権同和問題研修を正規職員に毎年実施し、性の多様性の尊重についてもこの研修を通じて指導、教育を行っている。

問 会計年度任用職員も含めた全ての職員に、多様性についての教育と分かり易い対応の手引きが必要と思うがどう考えるか

答 会計年度任用職員も含め、どの職員も市の職員として適切な対応ができるように、研修や手引の作成など方法も含めて今後検討していきたい。

問 教職員を含む学校関係者への多様性の尊重についての指導・教育はどの様に行っているのか

答 福岡県教育委員会や筑紫地区で行われている人権研修会に教師が参加し、その後、研修内容を学内で報告し、他の職員にも情報共有を行っている。

問 制服においては性別に関係なく自由に選べる制服の選択制を導入する学校が性的少数者に配慮し増えて来ている。本市として制服選択制についてどう考えているか

答 中学校の制服の選択についてご相談があれば、本人の意思を尊重し真摯に対応する。近年、多様な価値観が存在し、人権尊重の観点からも性的少数者に対し、多様性を尊重することが重要である。本人の選びたいという気持ちを尊重することについては、今後、制服についての議論をしていく上で重要な課題の一つとして検討したい。

多様性の尊重を！



▲映像はこちら

多様性への配慮も考慮した選択制制服の導入を

大塚 みどり



問 中学校ごとに制服検討委員会を設け、どのような改善や工夫があったのか

答 今年度から毎年制服検討委員会を開催する中学校もある。セーターの色が男子は紺色、女子は白色に変更になっている学校もある。

問 制服の自由選択制について、生徒や保護者からの要望があるのか

答 要望や相談は寄せられてない。本年6月、市内中学校の全生徒を対象に中学校の制服に関するアンケートを実施。男女別に分かれている制服について否定的な意見を持つ生徒が一定数いることが分かっている。

問 制服の多様性の尊重は進んでいるか

答 性的少数者の生徒への配慮や制服の価格について、各学校運営協議会で検討する。市の検討委員会を組織する場合には、現役の生徒の保護者以外にも卒業生の保護者や小学校の保護者、学識経験者なども委員として考える。

問 中学校の制服の選択制を前向きに捉えていくとする場合、どれくらいの時間がかかるか

答 2年半から3年程度の期間が必要である。

問 中学校における制服の選択制の導入について、市長の見解は

答 制服の選択制は、性の多様性という人権課題として、多くの自治体で活発な議論が行われている。教育現場における環境面での配慮ということになる。教育委員会が中心となって、議論を深めていくべき案件であろうと考える。



価値観の多様性時代！



▲映像はこちら

子どもの居場所づくり応援事業の 継続拡大を

神田 徳良



問 本市が捉える貧困率はどれくらいか

答 日本の子どもの相対的な貧困率は13.5%となっており約7人に一人が貧困状態にあるとされている。本市の子どもの貧困率は4.7%約2050世帯が生活困難世帯に該当すると推測される。

問 これまでの子ども食堂の開催場所や回数は

答 18か所の公民館で41回開催、公民館以外では5か所57回。

問 これまでの子ども食堂への支援は

答 食材保管設備購入補助金の交付、運営規則やルールづくりの協力、子ども食堂の案内や食材寄付の呼びかけなど。

問 今後の支援はどうなっているのか、また運営費など助成できないのか

答 本市ではこれまで、各区に自主活動として、子ども食堂の開催をお願いし、公民館において子ども食堂を広げてきた。今後、子ども食堂を継続

的に運営していくために、運営者の負担が少ない食事メニューの研究を協力して行うとともに、子ども食堂に興味を持つ個人や団体を対象とした調理体験を通して、運営者の人材育成を図っていきたい。助成についても、調査研究していく。

問 子どもの居場所や学びの場の現状は

答 コミュニティセンターや公民館がある。新設の「青少年の居場所」において勉強した後、子ども食堂を開く取組みなど検討していきたい。



▲映像はこちら

安全な給食のため、国産小麦の利用促進を！

松崎 百合子



問 給食における輸入小麦粉やパンに残留するグリホサートの除去について、本市の小学校給食食材の残留農薬の検査はどのようにされているか

答 小学校給食食材に関して、米や小麦等の基本物資は、政府物資を使用しており、国がグリホサート等の残留農薬の検査を行っている。加工食品等の一般物資は、供給元の福岡県学校給食会が残留農薬の検査も含め、定期的な検査を実施。大野城市学校給食会が契約している業者から調達している肉や野菜は、大野城市学校給食会が年に1回検査を行っている。

問 主食のパンとご飯の提供はどうか

答 主食は、昨年度までは、ご飯は週3回、パンは週2回提供。今年度からは、学校給食摂取基準の改正により、食塩の摂取基準値が、2.5グラムから2.0グラムへ変更されたことから食塩量を勘案し、ご飯は週4日、パンは週1回としている。小学校給食では、米粉パンを除き、原料の小麦粉は外国産を使用している。

問 給食の材料を国産小麦粉か米粉にすることはできないか

答 パンの材料全て国産小麦粉にすることは、小麦の国内自給率が低いことから安定した供給が困難な状況になると考えている。国産小麦パンや米粉パンの提供については、地産地消や食育の推進を図っていく必要があることから定期的に行っており、今後も継続してまいりたい。



残留農薬 令和元年度 小麦（食用）輸入時の検査（抜粋）

No.	農薬名	種類	試料 点数	基準値 (mg/kg)	基準値 以下の 点数	基準値 以上の 点数	濃度範囲 (mg/kg)
1	2,4,5-T	除草剤	283	N.D.	283	0	<0.01
2	2,4-D	除草剤	283	0.5	283	7	0.01-0.04
3	DBEDC	殺菌剤	283	2	283	0	<0.5
4	アゾキシストロビン	殺菌剤	50	0.3	50	0	<0.02
5	アルドリノ及びディルドリン	殺菌剤	283	N.D.	283	0	<0.005
6	インピラザム	殺菌剤	283	0.2	283	0	<0.01
7	イブコナゾール	殺菌剤	16	0.01	16	0	<0.01
8	イミダクロプリド	殺菌剤	50	0.2	50	0	<0.02
9	エテホン	除草剤	283	2	283	0	<0.05
10	エンドリン	殺菌剤	283	N.D.	283	0	<0.005
11	オラキドックス	抗生物質	283	N.D.	283	0	<0.001
12	カブタホル	殺菌剤	283	N.D.	283	0	<0.01
13	カルボキシ	殺菌剤	50	0.2	50	0	<0.01
14	キャプタン	殺菌剤	283	2	283	0	<0.01
15	クマホス	殺菌剤	283	N.D.	283	0	<0.01
16	グリホサート	除草剤	283	30	283	217	0.01-3.0
17	クロピラリド	除草剤	283	2	283	215	0.005-0.31

出典：農林水産省WEBサイト

(https://www.maff.go.jp/j/seisan/boeki/beibaku_anzen/bunsekikikka.html)

議会でも

新

生活様式!!



執行部側



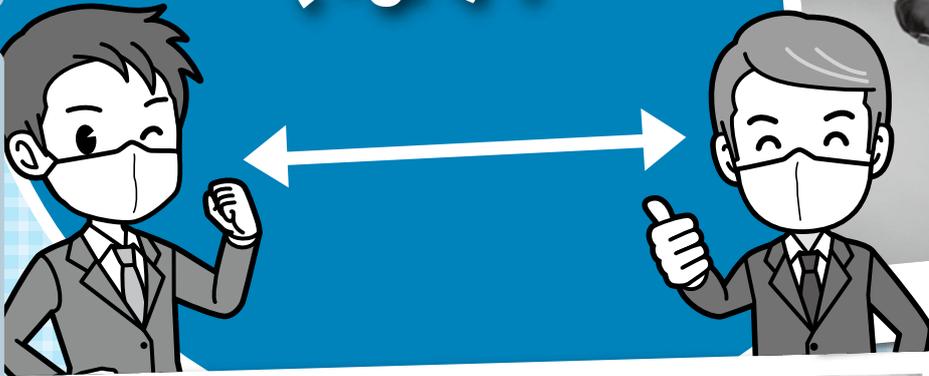
答弁を行う市長

飛沫防止
パネルを
設置



委員会の様子

一定の距離を保ち、
席を配置して
います!



開催前の手指の消毒



議員側

一般質問を行う議員



皆さん、大切な人を
守るための新生活様式への
ご協力ありがとうございます。
これからも継続をお願いします。



作品介绍

短歌

- 老耄がひとり佇み沼を見る静かな時が過ぎ秋が近づく
- 吹きこめる風は秋の匂ひして庭にかぼそくこぼろぎの鳴く
- ゆるやかに閉ぢゆく夜の睡蓮に己の来しかた思ふ時もつ (若草 高名 稔さん)
- 「今日は」マスクの下は笑顔なり お喋りしたくも密を拒みて
- 球磨川の辺りで育った幼な子は老婆になりて恋しさ募り (緑ヶ丘 平井静代さん)

イラスト



(下大利団地 眞下美代子さん)



(下大利団地 眞下美代子さん)



(東大利 草場富士美さん)

川柳

- 故郷の 訛りを聞いて 友となる
- 野の花に とても綺麗と 声かける
- にっこりと 振り向く妻に 花吹雪 (大城 すつびんの昭さん)
- 夢の東京 喧騒コロナ 旅鳥啼く
- 飲めぬのみ会 中止続けば 人恋し (乙金台 泉 満夫さん)
- 白髪染め 太陽当たりて 紫に
- テレビから 伝わる ニュースにドキドキし
- サルスベリ 「猿はどこに？」と 過去の子が (緑ヶ丘 平井静代さん)

俳句

- つむじ風 白髪の射手 揺るぎなし
- 家中の明かりを消せば 虫時雨
- 博多の森 山ごと濡らす 半夏雨 (大城 すつびんの昭さん)
- 風標 まどかに生きて 草の花
- 黄落や めぐる牛頭 ダムの森
- 夢のなか ドジョウとフナと 落葉風 (乙金台 泉 満夫さん)
- 一步をも 進めず哀し 球磨川沿い
- 清流で 泳いだ過去に 思い馳せ (緑ヶ丘 平井静代さん)

作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

●募集作品(未発表のものに限ります)

・俳句・川柳・短歌・写真・イラスト

●応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号

TEL. 580-1938

●注意事項

- ・未発表のものに限ります
- ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
- ・提出された作品は、返却しません。
- ・ペンネームでも可とします。
- ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。

●応募締切

2月15日号掲載は12月14日まで



広報委員会

委員長	井上正則
副委員長	福澤信光
委員	関井利夫
委員	原田真光
委員	渡邊知之
委員	平田不二香

あんてな

地震や台風など災害が多い日本において、私たちは誰もが災害の危険と隣り合わせで生活をしていると言っても過言ではありません。防災情報の基礎知識や「いざ、避難」という時にとるべき対応とは、どのようなことでしょうか?改めて考える必要があります。建物、建物周辺の養生、断水対策、停電対策、食料の備蓄、避難場所の確認、避難所で最低限必要となる身分証明書、通帳や印鑑、携帯電話などたくさん準備するものがあります。すべてを一度に揃えるのは難しいかもしれませんが、災害は明日起きるかもしれません。被災後に困らないよう日常から備蓄を意識した生活をするのが大切です。 渡邊知之